暖地 水田利用の飼料づくり

一　水田前作で乾草やサイレージ材料を

◎青刈えん麦、イタリアン、バーシームの混播でサンマーサイレージの材料を

早春播種で二〜三ヵ月の短期間で四〜五トンの収穫を挙げるためには、えん麦七・〇キロイタリアン一・〇キロ、バーシーム一・〇キロの混播が最良

◎裏作麦と表作イネの間を利用して青刈大豆

実とり麦の収かく一月位前に青刈大豆を間作しますと、田植までの二ヵ月位で高蛋白の青刈が一作できます。

生育の早い夏型大豆の茶小粒、改良新黒千石を用いますと一層多収、青刈給与、イタリアンの三、四番草と共にサイレージ切込み、束ねてハサ乾ししますと良質の乾草の何れにも利用出来ます。

◎紫丸かぶ、C・O、青刈ひまわり

何れも春まきで二〜三ヵ月の短期間に多収出来ます。

二　秋落ち、老朽化水田には、思い切って、牧草栽培を

水田に牧草をつくりますと見違える程の耕土改善が出来ます。牛、豚、鶏どんな家畜にも牧草が利用出来、無畜農家では牧草で売っても結構秋落ち田の米以上の収益を挙げられます。

ドンナに春早まきしても苔立ちのない生育の早い改良紫丸かぶ

水田にまく牧草は下記の混播が適当で石灰を入れ、砕土整地を丁ねいにし排水を良好にし、暑熱期には灌水を行ないますと、春まきで年内に三回以上の収かくが出来ます。

春まきで生育の早い青刈大豆改良新黒千石

	一〇アール当（キロ）
赤クロバー	一・〇
ラデノクロバー	〇・三
オーチャード	一・〇
ペレニアルライ（マンモス）	一・〇
アルサイククロバー	三・〇

三　青刈ひまわりは葉の生産が肝心です。

大葉多葉性ひまわりはウチワのような大きな葉を開花始には三〇〜四〇枚もつける優良種。

霜にも強く短期間にグングン伸びる大葉多葉性ひまわり

開田 水田大型化 に伴う畦畔の牧草化

基盤整備事業として開田。水田大型化（機械利用を考慮して）が冬期間を通じて各地で行なわれて居りますが、今春はその新しい農道や、畦畔に是非牧草を播種しましょう。

そして畦畔から良質の飼料や、堆肥材料をドッサリ収かくすると共に、畦や農道の崩れるのを防ぎ、雑草の侵入を防ぎましょう。

雪の中でも開田や水田大型化が行なわれている

○畦畔用牧草混播例（実面積一〇アール当）

ラデノクロバー	〇・三キロ
ペレニアルライグラス（マンモス）	一・〇
オーチャード	一・〇
レッドトップ	〇・三

◎まき方

早春から秋までの農道や畦畔が出来たらなるべく早く、少量の肥料をまき、ムラなく種子をまき、足で踏みつけて置きます。

◎刈取り

今までの畔草刈りより幾分高目に刈取ります。草丈二〇㌢以上になってから。

牧草化され，良質の飼料の生産される畦畔